

**METAL
WEAR**

HD

**FireWire 800/400
USB2.0/1.1**

FireWire 800 HD Drive

METALWEAR series

User's Manual

ご注意

- 1) 本製品と本書は、ヤノ電器株式会社の著作物です。当社の著作物の一部または全部を、当社に無断で複製し、複写し、転載し、改変することは、法律で禁止されています。
- 2) 本製品と本書は、改良のために内容を予告せずに、変更する場合がありますのでご了承ください。
- 3) 本製品は、法律で定める戦略物資等輸出規制製品に該当する場合がありますので、本製品の輸出あるいは国外への持ち出しにはご注意ください。
- 4) 本製品は、日本国内でご利用いただくように設計、製作されています。国外でのご使用に関しては、当社は責任を負いかねます。国外へのサポート、アフターサービスはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 5) 本製品を使用して、作成し、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合には、当社は理由の如何にかかわらず保証いたしかねます。ご必要なデータはあらかじめバックアップされることをお奨めいたします。
- 6) 本製品もバックアップし、ご自分で保有される場合に限って、一部のみ複写することができます。
- 7) 本製品のソースコードをお客様に開示し、ご使用を許諾することはありません。本ソフトウェア製品の解析、逆アセンブル、逆コンパイル、またはリバースエンジニアリングを禁止しております。
- 8) 本書に記載のない、あるいは本書に記載された内容と異なる操作によって生じた、どのような事故、損害に関しても、当社では責任を負いかねます。
- 9) 本製品は、医療など人命にかかわる機器、航空機、原子力、輸送など高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器としての使用、あるいはこれらの機器や設備に組み込んで使用されることは考慮しておりません。このようなご利用によって生じた、どのような事故、損害に関しても、当社では責任を負いかねます。
- 10) 本製品および本書の内容について、ご不審な点や、お気づきの点がございましたら、当社カスタマサポートまでご一報くださいますようお願い申し上げます。

FireWire 800 対応 ハードディスクドライブ

FireWire 800 Hard Disk Drive

METALWEAR series ユーザーズマニュアル



はじめに

このたびは、弊社製 FireWire 800対応ハードディスクドライブ**METALWEAR シリーズ**をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品を コンピュータに接続して使用するためには、いくつかの準備作業が必要です。このマニュアルを読んで正しく作業を行ってください。また、作業が完了したあとも、このマニュアルは大切に保管してください。

また、このマニュアルに記載されている画面上の表示等は、お使いのコンピュータのシステムの設定やバージョンによって、見え方が異なる場合があります。

マニュアルの本文中の記号について

 注意	作業上、非常に大切なことを説明しています。注意事項を守らないと、重大なトラブルが発生し、データが失われることがあります。
 MEMO	作業にあたって気にとめていただきたいことを説明しています。作業の参考にしてください。

METALWEAR シリーズ導入の流れ

本製品をコンピュータに接続して使用するためには、いくつかの準備作業が必要です。
お使いのコンピュータ・OSに合わせて進んでください。

Macintosh ※1

Mac OS 9.1 以降		Mac OS X		
FireWire 400	USB	FireWire 400	FireWire 800	USB

はじめにお読みください

- ・パッケージの内容を確認する P8
- ・注意事項を読む P4・5およびP12～P17

付属のCD-ROM
「FireWire Utility」を
使って、ドライバと
フォーマッタを
インストールします
P24～

本製品を接続しましょう P27～

使ってみましょう P30～

ユーザー登録を行います

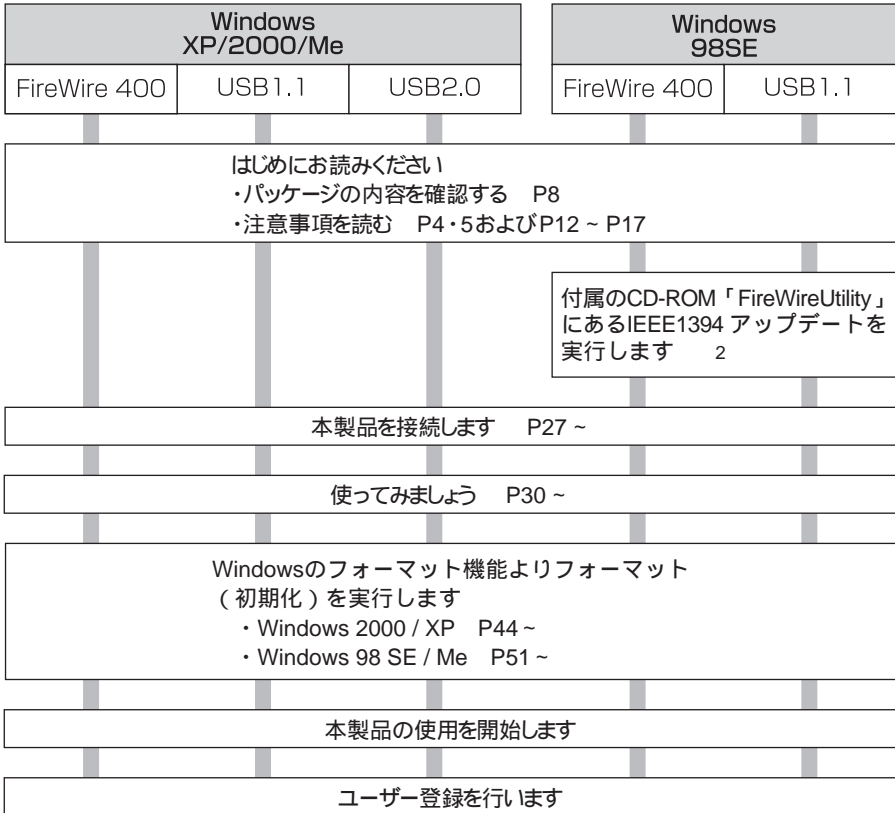
初期化しましょう(初期化し直す場合のみ) P33～

「Fire Formatter」を
使って、
イニシャライズ
します P33～

「特別」メニューから
「ディスクの初期化...」
を行きましょう P37～

「ディスクユーティリティ」
を使って、初期化しましょう P39～



Windows








- 1 本製品はMacintosh拡張フォーマットの単一ボリュームで初期化済みのため、Macintoshシリーズで単一ボリュームのまま使用する場合は初期化（イニシャライズ）の作業は必要ありません。再度イニシャライズする場合は、P33「3.初期化しましょう」をお読みください。
- 2 本製品に付属のCD-ROM「FireWire Utility」にある「242975JPN8.EXE」を実行してください。詳しくは添付の「ReadMeFirst.txt」をお読みください。

安全にお使いいただくために

ケガや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

警告

-  本製品の取り付け、取り外しの時は、必ずコンピュータ本体の注意事項に従ってください。
-  本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
-  本製品に付属の ACアダプタ以外のアダプタを使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
-  本製品やコンピュータ本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
-  本製品やコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やコンピュータ本体を使用しないでください。

火災や感電、故障の原因になります。



注 意



本製品の取り付け、取り外しの時は、慎重に作業を行ってください。強引な着脱は、機器の故障や、ケガの原因になります。



本製品やコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。

- ・ 不安定な場所
- ・ ホコリの多い場所
- ・ 振動のある場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 高温 / 多湿な場所
- ・ 衝撃のある場所
- ・ 強い磁気の発生する場所



長期間、本製品やコンピュータ本体を使用しない時は、電源プラグを抜いておいてください。

目次

はじめに	1
METALWEAR シリーズ導入の流れ	2
安全にお使いいただくために	4

Chapter 1 準備

1. パッケージの内容を確認しましょう	8
2. 本製品の概要について	9
・本製品の特長	9
・動作環境について	10
3. お使いになる前に	12
・FireWire および USB で接続する際の 注意事項・制限事項	12
・FireWire で接続する際の 注意事項・制限事項	15
・USB で接続する際の 注意事項・制限事項	17
・Mac OS X で使用する際の 注意事項・制限事項	17
4. 各部の名称とはたらき	18
5. 設置について	21
・縦置き用スタンドの取り付け方	21
・横置きにする時	22

Chapter 2 本製品を使用する

1. Mac OS 9.1 以降にソフトウェアを インストールしましょう	24
・Mac OS 9.1 以降に インストールする	24
2. 接続しましょう	27
・Windowsマシン(PC/AT互換機)を ご使用の場合	27
・コンピュータと接続する	28

3. 使ってみましょう	30
・電源の入れ方/切り方	30
・Macintosh で本製品を取り外す	31
・Windows で本製品を取り外す	31
4. 初期化しましょう	33
・Mac OS 9.1以降で「Fire Formatter」を 使ってイニシャライズする	33
・Mac OS 9.1以降で USB 接続で初期化する	37
・Mac OS Xで「ディスクユーティリティ」 を使って初期化する	39
・Windows 2000 / XP で フォーマットする	44
・Windows 98 SE / Me で フォーマットする	51

Chapter 3 付録

1. Mac OS 9.1 以降で「FireFormatter」を お使いの場合のエラーメッセージと対処方法 ...	54
2. こんな時には	55
3. サポートとサービスのご案内	59
・カスタマサポートのご案内	59
・オンライン情報提供サービスのご案内	59

Chapter

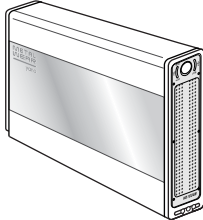
1

準備

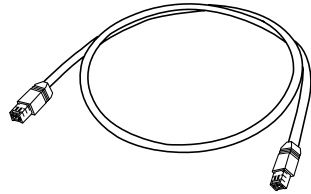
Chapter 1 では、本製品を使用する前に、知っておいて
いただきたいことを説明しています。

本製品のパッケージには、下記のものが入っています。お使いになる前に、必ず内容をご確認ください。不足品や破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社カスタマサポートへご連絡ください。☎ P59「サポートとサービスのご案内」

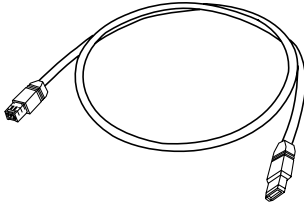
- ・METALWEAR シリーズ
ハードディスクドライブ 本体 1台



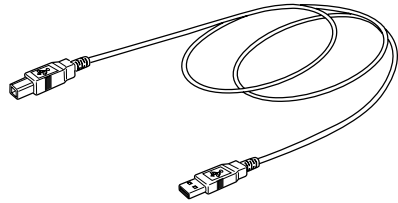
- ・ FireWire(IEEE1394)ケーブル
(9pin 9pin) 1本



- ・ FireWire(IEEE1394)ケーブル
(9pin 6pin) 1本



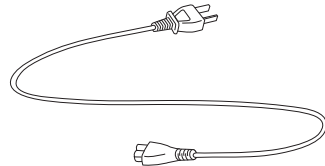
- ・USB ケーブル 1本



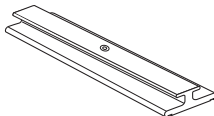
- ・ACアダプタ 1個



- ・電源ケーブル
(ACアダプタ用) 1本



- ・縦置き用スタンド 1個



- ・横置き用ゴム足 4個



- ・スタンド固定用ネジ 1本

- ・CD-ROM「 FireWire Utility」 1枚

- ・ユーザーズマニュアル(このマニュアルです) 1冊

- ・保証書、ユーザー登録カード 各1部

2 本製品の概要について

本製品の特長

最新の高速インターフェイス、FireWire 800 対応
従来の FireWire 400 の 2 倍、USB2.0 と比較しても約 1.7 倍の転送レート 800Mb/s を誇る高速インターフェイス FireWire 800 に対応。
Macintosh に新たなストレージ環境を提案します。

高速ドライブ&高性能コントローラボード採用
HD ドライブには 7,200rpm の高速ドライブを採用。
高性能コントローラボードとの組み合わせにより、FireWire 800 の性能を十分に引き出し、ビジネスやクリエイティブなどの高い要求に応えます。

マルチインターフェイス対応 (FireWire 800/400、USB2.0/1.1)
FireWire 800 に加え、FireWire 400、USB2.0、USB1.1 にも対応。4 つのインターフェイス対応により、幅広い環境で使用できます。
また、FireWire 800 専用ケーブル (9pin-9pin)、FireWire 400 への変換ケーブル (9pin-6pin)、USB 用ケーブルを標準で付属しています。

重厚感あふれるシャープなデザインのフルアルミボディ
重厚感あふれる厚さ 2.5mm のフルアルミボディを採用。高い剛性と優れた放熱性を確保すると同時に振動を抑える効果があります。
また、直線を基調としたスタイリングに表面仕上げの異なる 2 トーンの加工を施し、落ち着きとシャープさを演出。美しいアルミの輝きと印象的なフロントのメッシュグリルは、Power Mac G5 にベストマッチします。

Macintosh & Windows 対応
最新の Mac OS X や Windows XP にも対応。幅広いプラットフォームでお使いいただけます。

FireWire コネクタ (9pin) を 2 ポート搭載
FireWire コネクタ (9pin) を 2 ポート搭載しています。本製品の電源を ON にしていれば、デジチェーンでの接続も可能です。

動作環境について

本製品は、下記の環境に対応しています。

Macintosh シリーズ

FireWire 800

対応機種	FireWire 800 ポートを標準で搭載する Macintosh シリーズ または弊社製 FireWire 800 インターフェースカードを装備した Power Mac G4 (AGP Graphics 以降)
対応システム	Mac OS X 10.2.4 以降

FireWire 400

対応機種	FireWire 400 ポートを標準で搭載する Macintosh シリーズ < Power Book G3 (FireWire) には対応していません。 >
対応システム	Mac OS 9.1 以降 / Mac OS X 10.1.5 以降

USB

対応機種	USB ポートを標準で搭載する Macintosh シリーズ < Power Book G3 (Bronze) には対応していません。 >
対応システム	Mac OS 9.1 以降 / Mac OS X 10.1.5 以降

USB の対応機種については、FireWire ポートを標準で搭載していない機種のみ動作確認を行っています。FireWire ポートを標準で搭載している Macintosh については、FireWire ポートでお使いください。

このマニュアルでは「Mac OS X 10.2.4 以降」および「Mac OS X 10.1.5 以降」のことを総称して「Mac OS X」と記載しています。

Windows マシン (PC/AT 互換機)

IEEE1394.b

対応機種	弊社製FireWire 800インターフェースカードを装備したPC/AT互換機 ¹ で、下記の対応システムがプリインストールされたモデル
対応システム	IEEE1394 バスコントローラの OHCI ドライバが動作している ¹ Windows XP

IEEE1394.a / i.LINK

対応機種	IEEE1394.α (i.LINK)ポートを装備した PC/AT互換機 ¹ で、下記の対応システムがプリインストールされたモデル
対応システム	IEEE1394 バスコントローラの OHCI ドライバが動作している以下のシステム ¹ Windows 98 Second Edition(SE) ² / 2000 / Me / XP

1 Windows マシンでお使いの場合は、必ず IEEE1394 バス コントローラのドライバ「OHCI」が必要です。IEEE1394 CardBus PC カード、IEEE1394 PCI ボードをお使いの場合は、搭載するコンピュータに対応していることをご確認ください。

2 Windows 98SEでお使いの場合は、IEEE1394 デバイスドライバのアップデートを行ってください。アップデートを行うことにより、安全に IEEE1394 機器を取り外すことができ、IEEE1394 ドライバのパフォーマンスが向上します。アップデートは、付属の CD-ROM「FireWire Utility」の中に収録されていますのでご利用ください。

USB 1.1 / 2.0

対応機種	USB2.0もしくは、USBポートを装備したPC/AT互換機で、下記の対応システムがプリインストールされたモデル
対応システム	Windows 2000 / Me / XP

Windows 2000 については、Windows 2000 Professional で動作確認を行っています。
Windows XP については、Windows XP Home Edition で動作確認を行っています。

3 お使いになる前に

本製品をご使用になる場合は、以下の点に注意してください。
また、接続されている環境に合わせて、各注意事項をお読みください。

FireWire および USB で接続する際の注意事項・制限事項

本製品を導入するための作業を始める前に、必ず P4「安全にお使いいただくために」をお読みください。

本製品は安定した場所に設置してご使用ください。モニターやコンピュータ本体の上など、不安定な場所で使用すると、落下の恐れがあり、故障の原因となります。

タバコの煙の粒子が本製品のドライブ内部に付着すると、故障の原因となります。本製品の近くでの喫煙はご遠慮ください。同様に、チリやホコリの多い場所では使用しないでください。

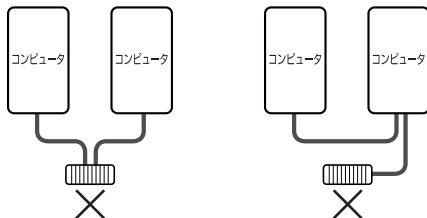
本製品が汚れた場合は、柔らかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤液に柔らかい布を浸し、固く絞ってから汚れをふき取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。

本製品は AC アダプタが必要です。AC アダプタは、必ず本製品専用の AC アダプタをお使いください。他の製品用のものを使用すると、破損や故障の原因となります。また、本製品専用の AC アダプタを他の製品で使用すると、破損や故障の原因となります。

本製品を使用する場合は、必ず付属のケーブルを使用してください。また、他の製品に本製品の付属品を使用しないでください。破損や故障の原因となります。

本製品の FireWire ポートと USB ポートを同時に使用しないでください。データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。

本製品に対して2台以上のコンピュータを接続しないでください。コンピュータを使用できなくなります。



本製品のアクセス時(アクセスランプが点滅している時)や、デスクトップにマウントしている時に、「電源を切る」「ACアダプタを抜く」「ケーブルを外す」といった行為をしないでください。データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。

ご使用の環境によっては、本製品をコンピュータに接続しマウント(アイコンが表示)されるまでに数十秒かかる場合があります。

本製品は仮想メモリのディスクに設定することはできません。

本製品に対して初期化を実行すると、データはすべて消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので、十分ご注意ください。

パーティションについて

- ・ Mac OS 9.1 以降で FireWire ポートに接続している場合

本製品に付属の「Fire Formatter」にはパーティションを設定する機能はありません。本製品を複数のボリュームでご使用の場合、「Fire Formatter」でイニシャライズ(初期化)すると、すべてのボリューム内のデータは消去され、ハードディスクの最大容量の単一ボリュームになります。消去されたデータを元に戻すことはできませんので、十分ご注意ください。

- ・ Mac OS X の場合

システムに標準で用意されているアプリケーション「ディスクユーティリティ」を使って複数のパーティションを作成することができます。パーティションの作成を行うと、ボリューム内のデータは消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので十分ご注意ください。

- ・ Windows でお使いの場合

マルチパーティションに対応しており、ファイルシステムの制限の範囲内で複数のパーティションを設定することができます。フォーマットを行うと、そのボリューム内のデータは消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんのでご注意ください。



MacintoshはNTFSフォーマットに対応していません。NTFSでフォーマットされた本製品は、Macintoshではデスクトップにマウントされず、未フォーマットドライブとして認識されます。



Windows 2000 / XP の FAT32 フォーマットは、フォーマットに制限があり、32GB を超えるボリュームをフォーマットすることができません。本製品を Windows 2000 / XP の FAT32 でお使いの場合は、32GB までのパーティションを作成してから、フォーマットを行ってください。



複数の FAT32 ボリュームに区切られた本製品を Mac OS 9.1 以降でお使いになる場合、File Exchange が有効であれば、第1パーティションのみデスクトップにマウントされます。ただし、第2パーティション以降はマウントされませんのでご注意ください。なお、Mac OS での Windows (DOS) フォーマットディスクの動作が保証するものではありません。

コンピュータの「スリープ」「スタンバイ」「サスペンド」などの省電力モードは無効にしてください。省電力モードから復帰ができなかったり、データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。

本製品は「システム起動中にデバイスの追加や取り外しをする」など、活線挿抜（ホットプラグ）といわれる動作が可能です。ただし、本製品のアクセス時（アクセスランプが点滅している時）やデスクトップにマウントしている時は、このような行為をしないでください。データが失われたり、本製品が故障する恐れがあります。

FireWire ハブや USB ハブに接続する場合は、FireWire ハブや USB ハブに付属のマニュアルをよくお読みのうえでお使いください。ハブ接続で正常に動作しない場合は、コンピュータ本体のコネクタに接続してお使いください。

本製品とともに接続する機器で音楽・動画を再生中（リアルタイム動作中）に、本製品を動作させると、再生中の音楽・動画が停止や中断することがあります。

FireWire で接続する際の注意事項・制限事項

FireWire ケーブルは、必ず FireWire インターフェイス規格に準拠し、高速転送に対応したものをお使いください。

コンピュータ本体に FireWire ケーブルを接続する際は、コネクタ（オス側）の形状とポート（メス側）の形状を確認のうえ、正しい方向に差し込んでください。逆方向に差し込まれた状態で電源を投入すると、過電圧が発生し、本製品が故障したりデータが消失する恐れがあります。

逆方向に差し込むなど、ケーブル接続時の誤使用によってコンピュータ本体や本製品が故障した場合は、ケーブルも故障している恐れがあります。故障したケーブルを他の正常な製品で使用した場合、その製品も過電圧を発生させる恐れがありますので、故障している（もしくは、故障している恐れがある）ケーブルは、ご使用にならずに必ず破棄してください。

コネクタが 4pin タイプの FireWire ケーブルではバスパワー動作に対応した機器に電力供給を行うことができません。複数の FireWire 機器を接続する場合、接続の流れの中に 4pin コネクタのケーブルで接続する FireWire 機器が含まれていると、正常に動作しなくなることがあります。

本製品を 4pin の FireWire ポートに接続してお使いの場合は、必ず FireWire インターフェイス規格に準拠し、高速転送（400Mb/s）に対応した 9pin 4pin の FireWire ケーブルをお使いください。DV 接続用などの高速転送（400Mb/s）に対応していない FireWire ケーブルをお使いになると、正常に動作しなかったり、データが失われる恐れがあります。

本製品の電源が「OFF」の場合、本製品以降に接続されている他の FireWire 機器のデータ転送はできません。本製品以降に接続されている他の FireWire 機器を認識させる場合は、本製品の電源を「ON」にしている必要があります。

本製品を含む複数台の FireWire 機器をデジチェーンで接続してお使いの場合、システム起動後に FireWire 機器の電源を ON にすると認識されない場合があります。この場合は、認識されない機器を電源が ON の状態のまま一旦取り外し、再度接続し直してください。

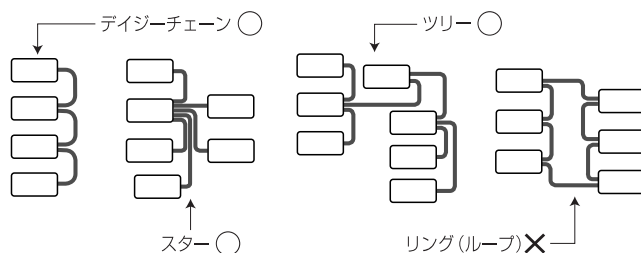
FireWire 機器を接続した状態でシステムを起動する場合は、先に全ての FireWire 機器の電源を ON にしてからコンピュータの電源を ON にし、システムを起動させてください。

複数の FireWire 機器を接続してお使いになると、システム起動中にデスクトップ上にマウントされる順番と、システム再起動後にマウントされる順番が変わる場合があります。

複数の（特に、同じタイプの）FireWire 機器を接続する場合は、「デバイスのボリューム名を変える」「デバイス本体に印を付ける」など、見分けがつくようにしてください。

FireWire 規格では、デジチェーン、スター、ツリーなどのいろいろな接続方法（次項を参照）を用いることにより、1つのバスにつき、コンピュータ本体を含めて63台までの機器を接続可能です。ただし、実際には数珠つなぎ（デジチェーン）を例にとると、両端の間を接続できるケーブルの本数が16本（16ホップといいます）までという制限があります。

FireWire 規格では、「デジチェーン」「スター」「ツリー」のいずれの接続方法も可能で、それぞれの接続方法を組み合わせることもできますが、リング（ループ）状態での接続はできません。



FireWire 800 の場合、本製品をデジチェーンで同時に接続できる台数は4台までです。デジチェーンによる5台以上の接続には対応しておりませんので、ご注意ください。

コンピュータの FireWire 800 ポートに本製品と、FireWire 800 に対応していない機器とをデジチェーン等で接続してお使いの場合、本製品の転送速度が低下する場合があります。


コンピュータに FireWire 800 ポートと FireWire 400 ポートが搭載されている場合は、FireWire 800 ポートには本製品などの FireWire 800 対応機器を接続し、FireWire 400 ポートには FireWire 800 に対応していない機器を接続してお使いになることをお勧めします。

Windows で IEEE1394 接続している場合、必ず IEEE1394 バスコントローラのドライバ「OHCI」が必要です。OHCI ドライバがインストールされていることを確認してください。詳しくは、P27 をお読みください。

USB で接続する際の注意事項・制限事項

本製品をコンピュータのUSBポートに接続したままで、システムを起動させると認識されない場合があります。この場合は、本製品の電源がONの状態のまま一旦取り外し、再度接続し直してください。

Windows フォーマットで初期化した本製品を、Macintosh フォーマットで初期化し直す場合、いくつかの作業が必要になります。詳しくはP38をお読みください。

本製品をUSB2.0に対応していないWindowsマシンに接続した場合、「高速USB デバイスが高速ではないUSBハブに接続されています。…」というメッセージが表示される場合がありますが、USB1.1では使用できますので、そのままをクリックします。

USB1.1は転送速度が遅いため、本製品のような高速ハードディスクドライブをお使いいただくインターフェイスには適していません。本製品はFireWireもしくは、USB2.0でお使いになることをお勧めします。

Mac OS X で使用する際の注意事項・制限事項

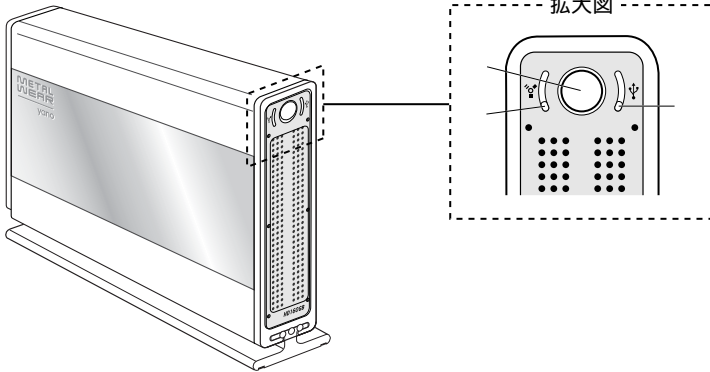
Mac OS X 10.2以降であれば、Windows (DOS) フォーマットディスクを認識することができます。それ以前のMac OS Xのバージョンでは認識することができませんのでご注意ください。なお、Mac OS XでのWindows (DOS) フォーマットディスクの動作を当社が保証するものではありません。

Mac OS X でハードディスクの初期化を行う場合は、システムに標準で用意されているアプリケーション「ディスクユーティリティ」をお使いください。また、Mac OS X 10.2.3以降であれば、物理フォーマットが行うことができます。Mac OS X 10.2.3以降で物理フォーマットを行う際は、P42「Mac OS X で物理フォーマットを行う」をお読みください。

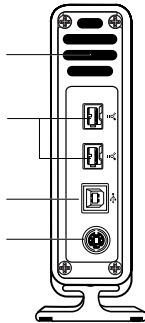
「UNIX ファイルシステム」形式でイニシャライズされたハードディスクは、Mac OS X でのみお使いいただけます。他のシステム (Windowsを含む) では、お使いいただけません。

4 各部の名称とはたらき

前面



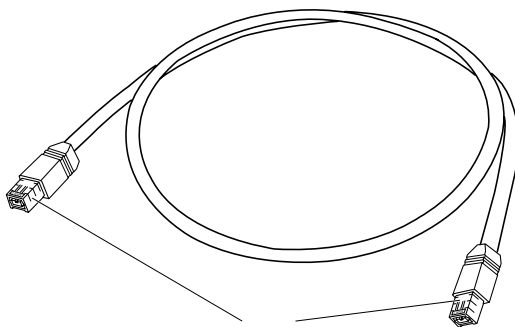
背面



電源スイッチ	本製品の電源をON / OFF します。電源を投入すると、白色に点灯します。
FireWireランプ	FireWire接続でお使いの時に、緑色に点灯します。本製品にアクセスしている時は、赤色に点滅します。
USBランプ	USB接続でお使いの時に、緑色に点灯します。本製品にアクセスしている時は、赤色に点滅します。
通気口	空気が通ります。ふさがないようにしてください。
FireWire ポート (9pin)	FireWireケーブルのコネクタ(9pin)を接続します。
USB ポート	USBケーブルのコネクタを接続します。
電源コネクタ	本製品に付属のACアダプタを接続します。

FireWire ケーブル (9pin - 9pin)

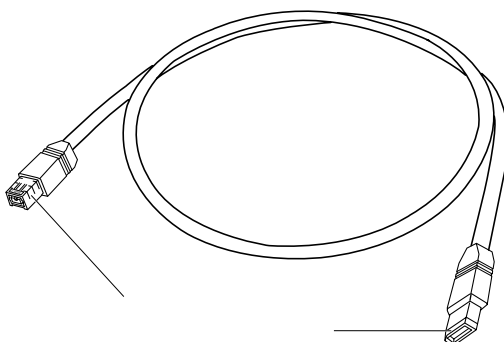
本製品の FireWire ポートとコンピュータの FireWire 800 ポート (9pin) を接続するケーブルです。



FireWire コネクタ (9pin)	本製品の FireWire ポートとコンピュータ本体の FireWire 800 ポートを接続します。
------------------------	---

FireWire ケーブル (9pin - 6pin)

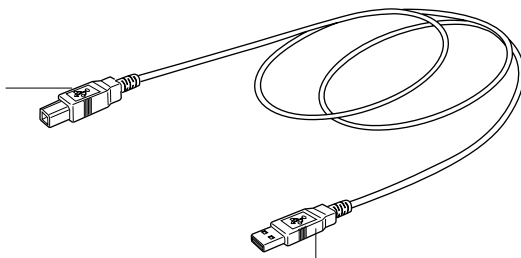
本製品の FireWire ポートとコンピュータの FireWire (6pin) ポートを接続するケーブルです。



FireWire コネクタ (9pin)	本製品の FireWire ポートに接続します。
FireWire コネクタ (6pin)	コンピュータ本体の FireWire (6pin) ポートに接続します。

USB ケーブル

本製品の USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続するケーブルです。



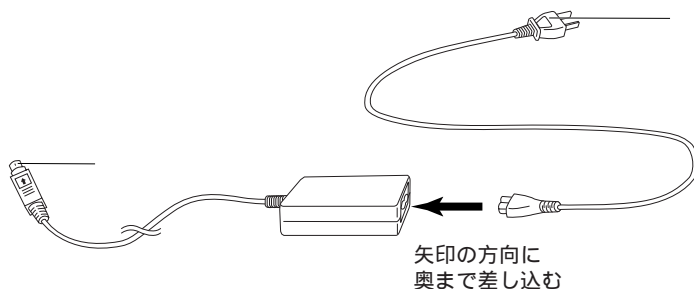
タイプ A コネクタ	コンピュータ本体の USB ポートと接続します。USB ハブを使用している時は、USB ハブにも接続できます。
タイプ B コネクタ	本製品の背面にある USB ポートに接続します。

AC アダプタ

電源ケーブルは下図のように AC アダプタに差し込んでお使いください。



本製品専用です。本製品には、必ずこの AC アダプタと電源ケーブルをご使用ください。また、この AC アダプタと電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。



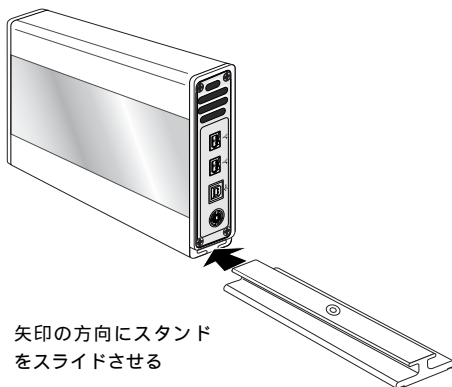
電源プラグ (コンセント側)	AC コンセントに差し込んで使用します。本製品を使用しない時は、必ず AC コンセントから抜いてください。
電源コネクタ (本製品側)	本製品の電源コネクタに接続します。

5 設置について

縦置き用スタンドの取り付け方

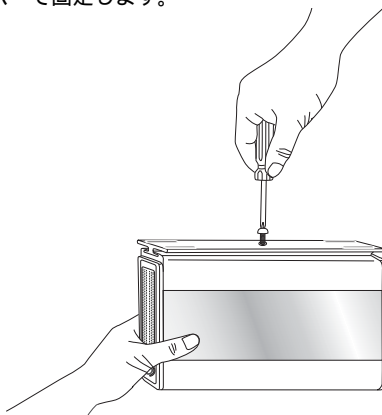
本製品を縦置きにする場合は、縦置き用スタンドを取り付けます。下記の手順で行ってください。

- 1 本体の背面から溝とスタンドのレールを合わせ、前面の方向にスライドさせて固定します。



矢印の方向にスタンド
をスライドさせる

- 2 縦置き用スタンドの底面にあるネジ穴に付属のスタンド固定用ネジをセットし、プラスドライバーで固定します。



注意

縦置き用スタンドはネジを取り付けることにより固定されますが、本製品の前面を上に向けたり、縦置き用スタンドを取り付けた状態で本製品を移動させると突然スタンドが本体から外れ落下する恐れがあります。十分ご注意ください。



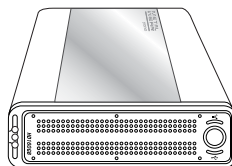
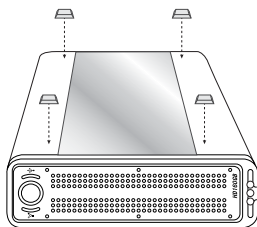
注意

本体へのキズを防ぐため、スタンド固定用ネジは樹脂製のものを採用しております。小さなドライバを使用するとネジ頭を破損する恐れがありますので、ネジにあったドライバーをご使用ください。また、必要以上に強く締め過ぎるとネジを破損する恐れがありますのでご注意ください。

横置きにする時

本製品を横置きにする場合は、横置き用ゴム足を取り付けます。下記の手順で行ってください。

図のように、電源スイッチが左側になるように（製品名ロゴが印刷された面を下に）寝かせ、下図のように4ヶ所にゴム足を取り付けてください。



正しい設置方向
製品名ロゴの面を上にする



横置きにする場合、縦置きスタンドは取り外してください。

Chapter

2

本製品を使用する

Chapter 2では本製品の接続および使用方法、初期化の方法について説明しています。お使いのOSや接続状態によって作業内容が異なりますので注意してください。

Macintosh でお使いになる場合

- ・Mac OS 9.1以降で FireWire 400 でお使いの場合は、接続の前にソフトウェアのインストール作業が必要です。Mac OS 9.1以降で USB でお使いの場合や Mac OS X でお使いの場合は、すぐに接続作業に入ります。
- ・本製品はMacintosh拡張フォーマットの単一ボリュームで初期化のうえ、出荷されています。Macintoshシリーズでお使いになる場合は、再度イニシャライズする時以外は初期化の説明をお読みになる必要はありません。

Windows でお使いになる場合

本製品はMacintosh拡張フォーマットで初期化のうえ、出荷されています。Windowsでお使いになる場合は、接続後にフォーマットをする必要があります。接続後に、お使いになるOSに合わせて該当するページをお読みください。

この作業は、Mac OS 9.1 以降で FireWire 400 で
本製品をお使いになる場合にだけ必要な作業です。

Mac OS 9.1以降でFireWire 400で本製品をお使いになる場合は、ドライバソフトウェア(機能拡張書類)とハードディスクをイニシャライズするためのフォーマッタをインストールする必要があります。ここではインストーラを使ったこれらのソフトウェアのインストール方法を説明します。なお、Mac OS X の場合は、これらのソフトウェアのインストールは必要ありません。

Mac OS 9.1 以降にインストールする

インストーラ「Yano FireWire Installer」を使って、ドライバソフトウェア(機能拡張書類)とフォーマッタ「Fire Formatter」をインストールします。

コンピュータの電源を入れて、システムを起動しておきます。



本製品は、このインストール作業が完了してから、コンピュータのFireWireポートに接続してください。

1

本製品に添付されている CD-ROM「FireWire Utility」を Macintosh 本体の CD-ROM ドライブにセットします。

・「FireWire Utility」の内容が表示されます。

2

「最初にお読みください」の書類をダブルクリックします。書類には、このマニュアルに記載されていない注意事項、変更点などが書かれています。必ず、お読みください。

・読み終われば、「SimpleText」を終了します。



最初にお読みください


3

インストーラ「Yano FireWire Installer」のアイコンをダブルクリックします。



Yano FireWire Installer

4

ソフトウェア使用許諾契約の画面が現われます。内容を確認のうえ、 をクリックします。

5 簡易インストールの画面が現われます。



インストール切替メニュー	「簡易インストール」と「カスタムインストール」を切り替えます。
場所切替メニュー	インストール先のディスクやフォルダを選択します。接続されているディスクが1つだけの場合、このメニューは表示されません。
場所表示	インストール先のディスクやフォルダを表示します。
ディスク切替(フォルダ選択)ボタン	インストール先のディスクを選択します。接続されているディスクが1つだけの場合、このボタンは「フォルダ選択ボタン」となり、インストール先のフォルダを選択する際に使用します。
インストールボタン	インストール作業を実行します。
終了ボタン	Yano FireWire Installer を終了します。
ソフトウェア使用許諾契約	最初に表示されたソフトウェア使用許諾契約の画面を表示します。内容を再度確認する場合にこのボタンを押します。



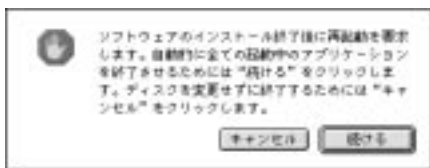
MEMO

カスタムインストールでは、必要なソフトウェアを選んでインストールすることができます。インストールする項目を選択するチェックボックス(✓)が表示されますので、インストールする項目をクリックしてチェック(✓)を入れます。

- ・通常、本製品をお使いになるには「FW YHD MTH」と「Fire Formatter」のインストールが必要です。
- ・右端のインフォメーションアイコン(ℹ)をクリックすると、そのソフトウェアの情報が表示されます。詳しくは次ページ「インフォメーションアイコンについて」を参照してください。

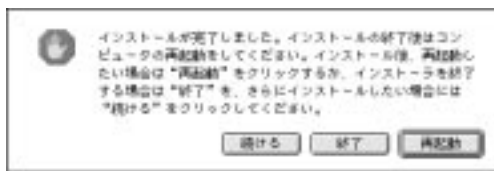
6 インストールする場所を確認して、**インストール** をクリックします。インストール場所を変更する場合は、場所切替メニューかディスク切替ボタンで選んでから、**インストール** をクリックしてください。

- 7** 下図のメッセージが表示されますので、**続ける** をクリックします。



- ・インストールが始まります。

- 8** インストールが完了すると、下図のメッセージが表示されます。**再起動** をクリックしてシステムを再起動させてください。



- ・他に起動中のアプリケーションソフト等がある場合は、それらを終了してからシステムを再起動させてください。
- ・インストール先に指定されたディスク(もしくはフォルダ)に、「Fire Formatter」の入った「FireWire Utility」というフォルダが作成されます。



簡易インストールを選択した場合、およびカスタムインストールで「Yano アイコン」のチェックボックスをチェックした場合は、「FireWire Utility」フォルダにカスタムアイコン集のフォルダ「Yano アイコン(詳しくは、P36を参照)」が作成されます。

これで、インストールは完了です。P27「2. 接続しましょう」へ進みます。「Fire Formatter」の使用方法については、P33をお読みください。

I (インフォメーション) アイコンについて

カスタムインストールを選択すると、選択項目一覧にソフトウェア項目が表示されます。項目の右端にはアイコン(**I**)があり、クリックすると右図のようにそのソフトウェアの情報が表示されます。

OK をクリックすれば、元のカスタムインストール画面に戻ります。



2 接続しましょう

本製品をコンピュータ本体のFireWire(IEEE1394)ポートまたは、USBポートに接続します。PCカードやPCIボードでお使いの場合は、カードやボードに付属のマニュアル等をお読みください。

Windowsマシン(PC/AT互換機)をご使用の場合

WindowsマシンでIEEE1394に接続してお使いの場合、必ずIEEE1394バスコントローラのドライバ「OHCI」が必要です。まず、OHCIドライバがインストールされているを以下の手順で確認してください。

OHCIドライバの確認手順

Windowsを起動したあと、「マイコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択してください。

Windows XPの場合、「マイコンピュータ」は通常[スタート]ボタンから選びます。他のOSではデスクトップにあります。

Windows 2000 / XPでは、システムのプロパティで【ハードウェア】タブを選択し、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

Windows Me / 98 SEでは、【デバイスマネージャ】タブで「種類別に表示」を選択します。

「IEEE1394バスコントローラ」の中に「OHCIのドライバソフトウェア」が表示されているかを確認してください。

「OHCIのドライバソフトウェア」が表示されていない場合は、OHCIドライバをインストールする必要があります。コンピュータ本体、IEEE1394 CardBus PCカード、IEEE1394 PCIボードに付属のマニュアルなどをご覧になり、OHCIドライバをインストールしてください。

Windows 98 SEをお使いの場合

Windows 98 SEでお使いの場合は、IEEE1394デバイスドライバのアップデートを行ってください。アップデートを行うことにより、安全にIEEE1394機器やUSB機器を取り外すことができ、IEEE1394ドライバのパフォーマンスが向上します。本製品に付属のCD-ROM「FireWire Utility」の中にある「242975JPN8.EXE」を実行してください。詳しくはCD-ROMに添付の「ReadMeFirst.txt」をお読みください。

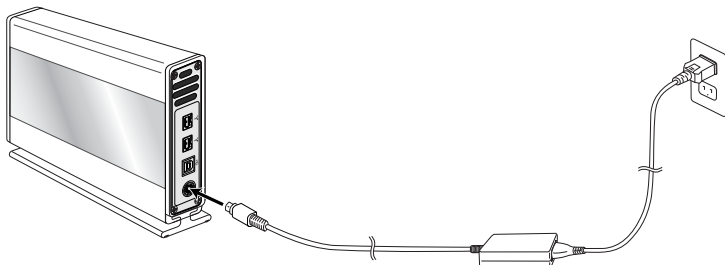
コンピュータと接続する

作業を始める前に、コンピュータ本体およびコンピュータに接続している機器の電源をすべて切っておきます。



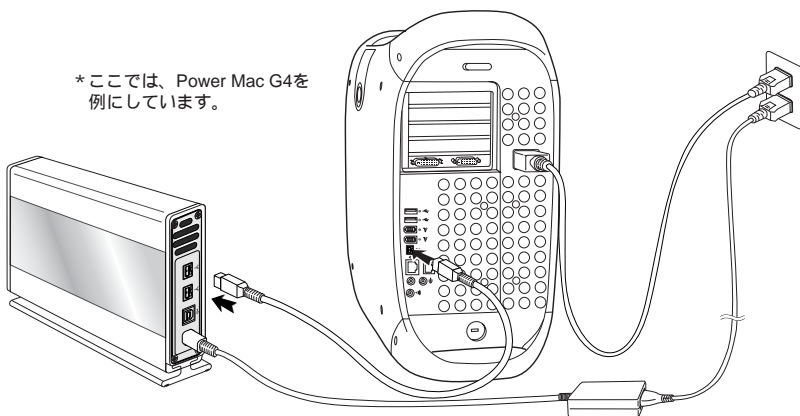
この時点では、本製品の電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。電源スイッチがONになっている場合は、電源をOFFにしてください。

- 1 本製品に AC アダプタの電源プラグを差し込みます。AC アダプタ側は AC コンセントに差し込みます。











- 2 付属の FireWire ケーブルまたは USB ケーブルで、本製品とコンピュータのポートにしっかりと接続します。


*ここでは、Power Mac G4を例にしています。



接続するケーブルはお使いになるコンピュータによって異なります。コネクタの形状は次ページのとおりで、コネクタの形状をよく確認して接続してください。

	本製品側	コンピュータ側
FirreWire 800 (9pin 9pin)		
FirreWire 400 (9pin 6pin)		
FirreWire 400 (9pin 4pin)		
USB 1.1 / 2.0		



本製品を USB2.0 に対応していない Windows マシンに接続した場合、「高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。...」というメッセージが表示される場合がありますが、USB1.1 では使用できますので、そのまま  をクリックします。



FireWire (IEEE1394) 規格および USB 規格では、活線挿抜 (ホットプラグ) 機能が採用されているため、システム稼働中に本製品を接続することができます。システム起動後に本製品を接続する時は、本製品の電源を入れてから、FireWire ポートおよび USB ポートに接続してください。

活線挿抜 (ホットプラグ) 機能 ... FireWire (IEEE1394) インターフェイス規格および、USB 規格では「システム稼働中に IEEE1394 機器および USB 機器の追加や取り外しをする」など、活線挿抜 (ホットプラグ) といわれる動作が可能です。

これで、本製品とコンピュータとの接続は完了です。

Mac OS 9.1以降の場合

FireWire で接続してお使いの場合は、「ソフトウェアのインストール」と「本製品とコンピュータとの接続」が終われば、本製品と Macintosh に電源を入れて、システムを起動させてください。本製品の使い方については、P30「3. 使ってみましょう」へ進んでください。

USB で接続してお使いの場合は、「本製品とコンピュータとの接続」が終われば、本製品と Macintosh に電源を入れて、システムを起動させてください。本製品の使い方については、P30「3. 使ってみましょう」へ進んでください。

Mac OS X の場合

「本製品とコンピュータとの接続」が終われば、本製品とコンピュータに電源を入れて、システムを起動させてください。本製品の使い方については、P30「3. 使ってみましょう」へ進んでください。

Windows の場合

本製品は Macintosh フォーマット済みで出荷されているため、初めてお使いになる場合は、Windows フォーマットを行う必要があります。Windows 2000 / XP の場合は P44 へ、Windows 98 SE / Me の場合は P51 へ進んでください。

3 使ってみましょう

本製品の電源の入れ方と切り方、取り外し方の手順を説明します。

Windows で本製品をお使いになる場合

本製品は Macintosh 拡張フォーマットで初期化のうえ、出荷されています。電源の入れ方と切り方を確認した後は、P33「4. 初期化しましょう」へ進み、本製品を初期化してください。

電源の入れ方 / 切り方

電源の入れ方

1. 本製品の前面にある電源スイッチを ON にして電源を入れます。
電源が入るとパワーランプが白色に点灯します。
2. コンピュータのシステムを起動します。
3. 接続しているポートにより、FireWire ランプまたは USB ランプが緑色に点灯します。
4. 本製品が認識されます。Macintosh の場合はデスクトップにマウントされます。
環境によってはマウント（認識）されるまで数十秒かかる場合があります。

電源の切り方

1. コンピュータのシステムを終了します。
2. 本製品の前面にある電源スイッチを OFF にして、電源を切ります。



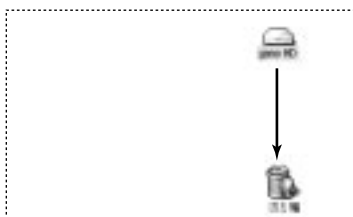
IEEE1394 (FireWire) PCI ボードおよび、PC カードを装着したコンピュータでお使いの場合、本製品を接続した状態で電源を切ると、ハングアップすることがありますので、IEEE1394 ケーブルを取り外してから、電源を切ってください。

Macintosh で本製品を取り外す

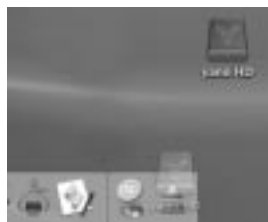
本製品をコンピュータ本体から取り外す場合は、以下の手順に従ってください。

1 必ず、本製品に記録されているファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないことを確認してください。

2 本製品をアンマウントし（ゴミ箱に捨て）ます。



Mac OS 9.1 以降の場合



Mac OS X の場合

・複数のボリュームを作成している場合は、すべてのボリュームのアイコンをアンマウントしてください。

3 接続しているケーブルを抜き、本製品の電源を切ります。

Windows で本製品を取り外す



本製品をコンピュータ本体から取り外す場合は、以下の手順に従ってください。




Windows 98 Second Edition をお使いの場合

Windows 98 SE の場合でホットプラグ機能を利用するには、本製品に付属の CD-ROM「FireWire Utility」に収録されている IEEE1394 アップデートを必ず実行しておいてください。

1 必ず、本製品に記録されているファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないことを確認してください。

2 タスクバーのステータス表示領域に、アイコン  もしくは、 が表示されます（Windows 98 SE でアイコンが表示されない場合は、IEEE1394 のアップデートを行ってください）。

- 3** または、 アイコンをクリックすると、下図のようなメッセージが表示されますので選択します。

IEEE1394接続の場合



Windows XP の場合のメッセージ (例)



Windows Me の場合のメッセージ (例)


USB接続の場合



Windows XP の場合のメッセージ (例)



Windows Me の場合のメッセージ (例)

- 4** 下図のような **ハードウェアの取り外し** の画面が表示されますので、 をクリックします。Windows XP の場合、しばらくすると表示が消えます。

IEEE1394接続の場合



Windows XP の場合 (例)



Windows Me の場合 (例)

USB接続の場合



Windows XP の場合 (例)



Windows Me の場合 (例)

- 5** 接続しているケーブルを抜き、本製品の電源を切ります。



注意

IEEE1394 (FireWire) PCI ボードおよび、PC カードを装着したコンピュータでお使いの場合、本製品を接続した状態で電源を切ると、ハングアップすることがありますので、IEEE1394 ケーブルを取り外してから、電源を切ってください。

4 初期化しましょう

本製品はMacintosh拡張フォーマットの単一ボリュームで初期化のうえ、出荷されています。お使いのOSや接続するポートを下記で確認のうえ、該当するページをお読みください。Macintoshシリーズでお使いになる場合は、再度イニシャライズしたい場合にだけ作業を行ってください。Windowsでお使いになる場合は、必ず初期化(フォーマット)を実行する必要がありますので、お使いになるOSに合わせて初期化してください。

- ・ Mac OS 9.1 以降で FireWire 接続でお使いの場合 このあとへ
- ・ Mac OS 9.1 以降で USB 接続でお使いの場合 P37 へ
- ・ Mac OS X でお使いの場合 P39 へ
- ・ Windows 2000 / XP の場合 P44 へ
- ・ Windows 98 SE / Me の場合 P51 へ



初期化を実行すると、ハードディスクにあるデータはすべて消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので、十分にご注意ください。

Mac OS 9.1 以降で「Fire Formatter」を使ってイニシャライズする

Mac OS 9.1 以降で、FireWire 接続でお使いの場合は、「Fire Formatter」を使ってイニシャライズ(初期化)します。

本製品に対してイニシャライズを行う場合、FireWire インターフェイスの機器は、本製品 1 台のみがコンピュータに接続されている状態で行ってください。



当社製の FireWire インターフェイスの機器が 2 台以上接続されていると、目的の機器以外のデバイスがイニシャライズされることがあります。



「Fire Formatter」には、パーティション作成機能がありません。イニシャライズを実行すると、ハードディスクの最大容量の単一ボリューム(パーティション)になります。

1

本製品がコンピュータに接続されていることを確認します。本製品の電源を入れてからシステムを起動します。

2

「FireWire Utility」を開き、「Fire Formatter」をダブルクリックして起動します。



Fire Formatter

3 必要に応じてボリューム名を入力し、オプションを設定します。



ボリューム名	イニシャライズ後に本製品に付ける名称を入力します。
アイコン選択ボタン	この部分をクリックすると、アイコン選択の画面が表示されます。お使いの製品に合わせてお好きなアイコンをクリックすると、デスクトップのボリュームアイコンになります。詳しくは、次ページをご覧ください。
拡張フォーマットを行う	このチェックボックスにチェック(✓)が入っていれば、Mac OS 拡張フォーマットでイニシャライズを行います。通常は、拡張フォーマットでイニシャライズしてください。標準フォーマットを行う場合は、チェックボックスをクリックして、チェックを外してください。
物理フォーマットを行う	このチェックボックスをクリックし、チェック(✓)を入れると、イニシャライズの際に物理フォーマットが行われます。通常は物理フォーマットをする必要はありません。物理フォーマットを行う場合は、チェック(✓)を入れてください。なお、物理フォーマットには、時間がかかります。
実行ボタン	「ボリューム名設定」と「オプション設定」の設定後、このボタンをクリックして、イニシャライズを実行します。
クローズボックス	Fire Formatter を終了させる (Fire Formatter の画面を閉じる) 場合は、このボックスをクリックします。

- 4** をクリックします。



・イニシャライズを実行してよいか、確認の画面が表示されます。

- 5** 実行してよければ、 をクリックします。

・イニシャライズが開始されます。

- 6** イニシャライズが終わると、イニシャライズの終了を知らせるメッセージが現れます。

をクリックします。

- 7** デスクトップに、ハードディスクのアイコンがマウントされます。

これでイニシャライズは完了です。

ボリュームアイコンの変更について

イニシャライズ時のアイコンの変更について


- 1 アイコン選択ボタンをクリックすると、アイコン選択の画面が表示されます。



- 2 お使いの製品に合わせてお好きなアイコンを選び、選択ボタンをクリックします。
- 3 イニシャライズを実行します。選択したアイコンが、イニシャライズ終了後のデスクトップのボリュームアイコンになります。

フォーマット済みのボリュームに対するアイコンの変更について

すでにフォーマット済みのボリュームに対してもアイコンを変更することができます。付属のCD-ROM「FireWire Utility」からインストールされた「FireWire Utility」フォルダの中の「Yano アイコン」というフォルダにアイコンが収録されています。以下の手順でお使いください。

- 1 ボリューム（ハードディスクなど）のアイコンを、変更したいアイコンの上にドラッグします。
- 2 変更を確認するダイアログが表示されますので、確認のうえ  をクリックします。
- 3 デスクトップのボリュームアイコンになります。

Mac OS 9.1 以降で USB 接続で初期化する

本製品を Mac OS 9.1 以降でお使いで、USB ポートに接続している場合は、Mac OS の標準のメニューから初期化を行います。

本製品に対して初期化を行う場合、USB 機器は、本製品 1 台のみがコンピュータに接続されている状態で行ってください。



USB の機器が 2 台以上接続されていると、目的の機器以外のデバイスがイニシャライズされることがあります。



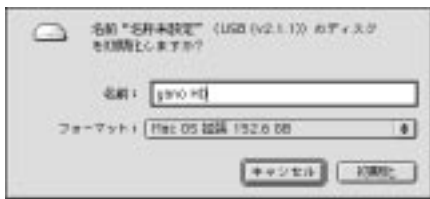
Mac OS 9.1 以降の標準の初期化のメニューにはパーティション作成機能がありません。初期化を実行すると、ハードディスクの最大容量の単一ボリューム（パーティション）になります。

1 本製品が USB ポートに接続されていることを確認します。本製品の電源を入れてからコンピュータのシステムを起動します。

2 デスクトップに本製品のボリュームアイコンがマウントされます。マウントされたボリュームアイコンをクリックし、選択します。

3 「特別」メニューから「ディスクの初期化...」を選択します。

4 『名前：』にボリューム名にしたい名称を入力します。
『フォーマット：』でフォーマット形式を選択します。「Mac OS 拡張」で初期化されることを推奨します。




5 初期化を実行してもよければ、**初期化** をクリックします。初期化の実行中に「ディレクトリを作成中...」という画面が表示されます。しばらくすると初期化が終了します。

これでイニシャライズは完了です。

Windows で初期化されたディスクを Macintosh フォーマットで初期化し直す場合

Windows で初期化されたディスクを Macintosh フォーマットで初期化し直そうとすると、『フォーマット：』に Mac OS のフォーマット形式が表示されません。以下の手順で作業を行ってください。

【アップルメニュー】から【コントロールパネル】の【機能拡張マネージャ】を起動します。

「File Exchange」の左側にあるチェックを外し、 にして  をクリックします。

Macintosh が起動したら、本製品を USB ポートに接続します。

「このディスクは、このコンピュータで読めません。ディスクを初期化しますか？」というダイアログボックスが表示されます。

『名前：』にボリューム名にしたい名称を入力します。


『フォーマット：』でフォーマット形式を選択します。「Mac OS 拡張」で初期化されることを推奨します。

初期化を実行してもよければ、 をクリックします。

・本製品の初期化が始まります。

初期化が終了すると、デスクトップにハードディスクのアイコンがマウントされます。

【アップルメニュー】から【コントロールパネル】の【機能拡張マネージャ】を起動します。

「File Exchange」の左側にある をクリックして をつけ、 をクリックします。

Mac OS Xで「ディスクユーティリティ」を使って初期化する


本製品をMac OS Xでお使いの場合は、FireWire, USBのいずれの接続でも「ディスクユーティリティ」を使って、初期化を行います。


1 本製品がコンピュータに接続されていることを確認します。本製品の電源を入れてからシステムを起動します。

2 システム起動ディスク（通常は「Macintosh HD」）から「アプリケーション」の中の「ユーティリティ」にある「ディスクユーティリティ」をダブルクリックして起動します。



3 ディスクのリスト表示の中から、初期化するディスク（ドライブ）を選びます。

 **注意** すでにデータが書き込まれたディスク（ドライブ）に対して初期化を実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので、初期化を実行する場合は、必ず初期化の対象となるディスクが選ばれていることを確認してから行ってください。

 **MEMO** Mac OS X 10.1.5 ~ 10.2.8 の場合は、「情報」タブをクリックして確認します。

FireWire接続の場合



・ ウィンドウ下部にある「ディスクの説明」に「Yano Electric Co. Ltd.」、「接続バス」に「FireWire」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を「全体のサイズ」で確認します。

USB接続の場合



- ・ ウィンドウ下部にある「ディスクの説明」に「Maxtor 6 Y160L0 Media」, 「接続バス」に「USB」と表示されていることと、接続しているハードディスクの容量を「全体のサイズ」で確認します。

ここでは「MTH160F8A」を例にしています。お使いの製品によって表示が異なります。

4

「パーティション」をクリックします（次ページの表を参照してください）。

「ボリュームの方式」「フォーマット」を選び、必要に応じて「名前」を入力します。名前を入力した後にキーボードのreturnキーまたは、enterキーを押し、入力した名前がパーティションマップに反映されていることを確認します。



「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」が表示されている場合

「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックを外した状態で初期化を行ったハードディスクは、Mac OS 9 のシステム環境では使用できなくなることがあります。


名前が反映されていることを確認




ボリュームの方式	ディスクを複数のボリュームに分割することができます。
ボリューム情報	名前 ディスクに付ける名称を入力します。 初期値は「名称未設定」になっています。名前を入力後、キーボードの return キー または、enter キーを押します。
	フォーマット Mac OS 標準・Mac OS 拡張・UNIX ファイルシステムの中から初期化のタイプを選びます。 通常は「Mac OS 拡張フォーマット（ジャーナリング）」で初期化してください。 Mac OS X 10.1.5 ~ 10.2.8 の場合は、「Mac OS 拡張」で初期化してください。
	サイズ 初期化されるディスク容量が表示されます。

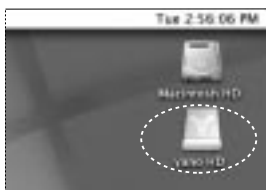


「UNIX ファイルシステム」形式で初期化されたディスクは、Mac OS X でのみお使いいただけます。他のシステム（Windows を含む）では使用できません。

5 初期化を実行してよければ、 をクリックします。

6 操作を実行してもよいかを確認する（警告！）ダイアログが表示されます。実行してよければ  をクリックします。

7 「ディスクユーティリティ」を終了します。デスクトップに、ドライブアイコンが表示されます。



FireWire 接続の場合



USB 接続の場合

これで初期化は完了です。

Mac OS X で物理フォーマットを行う

Mac OS X 10.2.3以降であれば、物理フォーマットを行うことができます。物理フォーマットを行う際は、以下の手順で作業を行ってください。

- 1 「Macintosh HD」、「アプリケーション」、「ユーティリティ」の順に開き、「ディスクユーティリティ」を起動します。
ディスクのリスト表示の中から物理フォーマットの対象となるディスク(ドライブ)を選択し、「消去」を選びます。
「ボリュームフォーマット:」に「Mac OS 拡張(ジャーナリング)」を選択し、「名前:」を入力します。



Mac OS X 10.2.3 ~ 10.2.8 の場合は、「ボリュームフォーマット:」に「Mac OS 拡張」を選択します。



「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」が表示されている場合
「Mac OS 9 ディスクドライバをインストール」のチェックを外した状態で初期化を行ったハードディスクは、Mac OS 9 のシステム環境では使用できなくなることがあります。

2

「オプション...」 をクリックすると、「消去オプション」画面が表示されますので、「全データを"0"にする」にチェックを入れて、**「OK」** をクリックします。



3

「消去」画面に戻ったら、**「消去」** をクリックするとディスクの消去をしてもよいかを確認する「ディスクの消去」画面が表示されます。消去する場合は、**「消去」** をクリックし実行します。

消去が終了すれば、物理フォーマットは完了です。



すでにデータが書き込まれたディスク（ボリューム）に対して初期化を実行すると、ディスク内のデータはすべて消去されます。消去されたデータを元に戻すことはできませんので、初期化を実行する場合は、必ず初期化の対象となるディスクが選ばれていることを確認してから行ってください。また、複数のボリュームがある場合はすべて消去されますのでご注意ください。



物理フォーマットは、デバイスの全領域に「0」を書き込むため時間がかかります。消去タブに「オプション...」ボタンが表示されていない場合、また、「消去オプション」画面で「全データを"0"にする」にチェックが入っていない場合は、物理フォーマットを行うことはできません。

Windows 2000 / XP でフォーマットする

Windows で本製品をお使いになる場合

本製品は Macintosh 拡張フォーマットで初期化のうえ、出荷されています。初めて Windows マシンでお使いになる場合は、Windows フォーマットに初期化し直す必要があります。ここでの手順どおり本製品を初期化してください。

Windows フォーマットで初期化済みの本製品を再度フォーマットする場合は、P50 からの手順に従ってフォーマット作業を進めてください。

本製品がコンピュータに接続されていることを確認します。

- 1 本製品の電源を入れて、システムを起動します。



Windows 2000 の場合は、Windows へのログオン の画面が表示されますので、ユーザー名を「Administrator」にしてOK ボタンをクリックします。Windows XP の場合は、管理者でログオン してください。

- 2 スタートメニューから [コントロールパネル] を選択します。



Windows 2000 の場合は、スタートメニューから [設定] の [コントロールパネル] を選択します。

- 3 [コントロールパネル]から[管理ツール]の [コンピュータの管理] を起動します。



- 4 [記憶域]から[ディスクの管理]を選択します。

ここをクリック



2000の場合

ディスクのアップグレードと署名ウィザードの開始 画面が表示されます。 **「次へ」** をクリックすると、 署名するディスクの選択 画面が表示されますので、 署名するディスクに を入れ、 **「次へ」** をクリックします。(ここでは、ディスク 1 に署名します。)



ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了 画面が表示されますので **「完了」** をクリックします。

- ・ 署名するディスクの選択が完了したら、手順 **5** に進みます。

XPの場合

ディスク情報が表示されているエリアを右クリックし、サブメニューの「ディスクの初期化」を選択します。



次ページのような ディスクの初期化 画面が表示されます。

初期化するディスクに を入れ、  をクリックします。(ここでは、ディスク 1 を初期化します。)



・初期化するディスクを選び、次の手順 **5** に進みます。

- 5** コンピュータの管理 画面が表示されますので、ディスク 1 の詳細内容の部分にポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。




- 6** マウスの右ボタンをクリックすると、サブメニューが開きますので、Windows 2000 の場合は「パーティションの作成」を、Windows XP の場合は「新しいパーティション」を選択します。



Windows 2000 の場合



Windows XP の場合

- 7** パーティションの作成ウィザードの開始 画面が表示されますので、  をクリックします。

- 8** パーティションの種類を選択 画面が表示されます。作成するパーティションの種類を選んで **次へ** をクリックします。



- ・ここでは「プライマリパーティション」を選択します。

- 9** パーティションサイズの指定 画面が表示されますので、使用するディスク領域を設定後、**次へ** をクリックします。



- ・NTFSでフォーマットを行う場合は、表示される設定のまま作業を進めてください。




注意

NTFSフォーマットされたディスクはMacintoshに対応していません。NTFSでフォーマットされた本製品は、Macintoshではデスクトップにマウントされず、未フォーマットドライブとして認識されます。




注意

Windows 2000 / XP の FAT32 フォーマットは、フォーマットに制限があり、32GB を超えるボリュームをフォーマットすることができません。本製品を FAT32 でお使いの場合は、32GB (32,768MB) までのパーティションを作成してから、フォーマットを行ってください。NTFS フォーマットには、FAT32 のようなファイルシステムの制限はありません。表示される設定内容のまま作業を進めてください。

- 10** ドライブ文字またはパスの割り当て 画面が表示されます。設定後、 をクリックします。



・ここでは、表示される設定内容のまま作業を進めてください。

- 11** パーティションのフォーマット 画面が表示されます。「このパーティションをフォーマットする」を選択し、 をクリックします。




・ここでは「ファイルシステム：」をNTFSを選択します。



注意


Windows 2000 / XP の FAT32 フォーマットは、フォーマッタに制限があり、32GB を超えるボリュームをフォーマットすることができません。本製品を FAT32 でお使いの場合は、32GB (32,768MB) までのパーティションを作成してから、フォーマットを行ってください。

- 12** パーティションの作成ウィザードの完了 画面が表示されますので、 をクリックします。

- 13** 選択したディスクの初期化が始まります。ディスク1の詳細内容に「フォーマット中」と表示されます。



- 14** フォーマットが完了すると、ディスク1の詳細内容画面にファイルの総容量、選択したファイルシステム、と「正常」と表示されます。

 をクリックして<コンピュータの管理画面を閉じます。




これでフォーマット(初期化)は完了です。このあとすぐに本製品をお使いになれます。

Windows フォーマットで初期化されているディスクを再フォーマットする


Windows フォーマットで初期化済みの本製品を再度 Windows フォーマットで初期化する場合は、以下の手順に従って初期化を行ってください。

- 1 ディスク 1 の詳細内容に「正常」と表示されていることを確認し、詳細内容部分にポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。サブメニューが開きますので、「フォーマット」を選択します。



- 2 「フォーマット」画面が表示されます。設定後、 をクリックします。



- 3 フォーマットしてもよいかどうかの警告のダイアログが表示されます。よろしければ  をクリックします。

・ディスク 1 の詳細内容の部分に「フォーマット中」と表示されます。

- 4 フォーマットが終わると、ディスク 1 の詳細内容画面にファイルの容量と、選択したファイルシステムが表示されます。

これでフォーマットは完了です。

Windows 98 SE / Me でフォーマットする

Windows で本製品をお使いになる場合

本製品は Macintosh 拡張フォーマットで初期化のうえ、出荷されています。初めて Windows マシンでお使いになる場合は、Windows フォーマットに初期化し直す必要があります。ここでの手順どおり本製品を初期化してください。

Windows フォーマットで初期化済みの本製品を再度フォーマットする場合は、手順 **3** からフォーマット作業を進めてください。

本製品がコンピュータに接続されていることを確認します。本製品の電源を入れて、システムを起動します。

1

スタートメニューから [プログラム] の [アクセサリ] の [MS-DOS プロンプト] を起動します。



Windows 98 SE の場合はスタートメニューから [プログラム] の [MS-DOS プロンプト] を起動します。

2

以下の手順で、FDISK を起動して領域を設定します。

キーボードから「fdisk」と入力し、**Enter** キーを押します。

大容量ディスクをサポートするか確認のメッセージが表示されます。「Y」を入力し、**Enter** キーを押します。

「5.現在のハードディスクドライブを変更」を選択します。「5」を入力し、**Enter** キーを押します。

「現在のハードディスクドライブを変更」に表示されたディスク容量を確認します。その番号を入力し、**Enter** キーを押します。

FDISK の作業を行う場合は、必ず、「現在のハードディスク」で本製品が選択されていることを確認してから、MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブの作成を行ってください。

手順 の画面に戻ります。「MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成」を選択します。「1」を入力し、**Enter** キーを押します。

・領域サイズの読み取りが始まります。ディスク容量が大きいため時間が掛かります。

「基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てますか?」というメッセージが表示されます。「Y」を入力し、**Enter** キーを押します。複数の領域に分けたい時は、「N」を入力します。

領域の設定が終わると再起動を確認するメッセージが表示されます。**Esc** キーを押し、FDISK を終了します。



Windows 98 SE の場合、FDISK は 64GB を超えるディスクのフルサイズを認識しない、という問題が Microsoft 社より報告されています。FDISK は、64GB を超えるハードディスクの物理ドライブのフルサイズから、64GB を差し引いた値をドライブサイズとして報告します。本製品は 64GB を超えるハードディスクのため、この FDISK の問題の対象となり、正しいドライブサイズが報告されませんが、このまま手順に従ってフォーマット作業を行ってください。

3 Windows を再起動します。デスクトップの [マイコンピュータ] をダブルクリックで開き、対象となるハードディスクアイコンにポインタを合わせて、マウスの右ボタンをクリックします。サブメニューが開きますので、「フォーマット」を選択します。



・「フォーマット」を選択すると、フォーマット画面が表示されます。

4 「容量」と「フォーマットの種類」を設定して、**フォーマット** をクリックします。



- ・本製品を初めて初期化する場合は、「通常のフォーマット」を選択してください。
- ・「クイックフォーマット」は、同じフォーマット形式で再フォーマットする場合だけ選択できます。Windows が未対応の形式でフォーマットされた本製品を初期化し直す場合は、「通常のフォーマット」を選択してください。
- ・本製品を起動ドライブとして使用することはできません。

5 「... フォーマットしてもよろしいですか?」という確認の画面が表示されますので、**OK** をクリックします。

6 フォーマットが完了すると、元のフォーマット画面が表示されますので、**閉じる** をクリックします。

- ・手順 **4** で「結果レポートの表示」にチェックを入れた時は フォーマット結果画面が表示されます。確認が終わったら【閉じる】をクリックします。
- ・フォーマットの確認画面やヘルプの画面が表示された場合は、内容を確認後、画面を閉じてください。

これでフォーマット(初期化)は完了です。このあとすぐに本製品をお使いになれます。

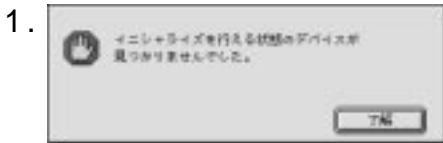
Chapter

3

付 録

Chapter 3では、本製品が正常に動作しない時のトラブルシューティングとカスタマサポートなどをご案内しています。必要に応じてお読みください。

本製品を Mac OS 9.1 以降でお使いの場合、「Fire Formatter」を操作している時に表示されるエラーメッセージとその対処方法を説明します。




下記のような状態の時に表示されます。

本製品の電源が入っていない。AC アダプタが接続されていない。

FireWire ケーブルが接続されていない。


「FW YHD MTH」が機能拡張フォルダにインストールされていない。

「FW YHD MTH」はシステムフォルダにインストールされているが、無効になっている。

→  をクリックして、確認してください。 の場合、コントロールパネルの機能拡張マネージャで調べてください。




使用中のファイルがある本製品に対してイニシャルライズを行おうとしている場合に表示されます。

→  をクリックし、使用中のファイルをすべて終了してから作業を行うか、ハードディスク（本製品）のアイコンを一度「ゴミ箱」にドラッグ＆ドロップしてアンマウントしてから、イニシャルライズを行ってください。




イニシャルライズの作業中にエラーが発生した場合に表示されます。


→  をクリックし、物理フォーマットの項目をチェックした状態でイニシャルライズを行ってください。それでも、同じメッセージが表示される場合は、本製品そのものの不良が考えられます。


2 こんな時には

正常に動作しない場合など、トラブルが発生した時は、下記のことを確認してください。

 ... Macintoshの内容です。



 ... Mac OS 9.1以降に限定した内容です。

 ... Mac OS Xに限定した内容です。



 ... Windowsの内容です。

? 本製品がデスクトップ上にマウント（認識）されない。


本製品の電源は入っていますか。


  本製品を使用するにはACアダプタが必要です。ACアダプタが正しく接続されているか確認してください。正しく接続されている場合には、電源が入っていることを確認してください（P30を参照）。

コンピュータ本体と本製品が正しく接続されていますか。

  コンピュータ本体のポートと本製品が正しく接続されているか確認してください。また、ケーブルのコネクタが抜けかかっていないのかも確認してください。



ドライバソフトウェアは使用可能な状態ですか。

 ドライバソフトウェア「FW YHD MTH」がシステム起動ドライブにインストールされているか確認してください。機能拡張マネージャなどで、「FW YHD MTH」が有効になっているかを確認してください。無効になっている場合は、有効に変更してから再起動してください。

 IEEE1394ポートに接続している場合、必ずIEEE1394バスコントローラのドライバ「OHCI」が必要です。OHCIドライバがインストールされていることを確認してください。詳しくは、P27をお読みください。



? ハードディスクがデスクトップにマウント（認識）された状態で、ケーブルを抜いてしまった。

この作業を実行するとデータが壊れる可能性がありますので、ケーブルを抜かないように注意してください。

  ケーブルを接続し直してください。それでもマウント（認識）されない場合は、コンピュータ本体を再起動してください。


? ハードディスクがデスクトップにマウント(認識)された状態で、本製品の電源を切ってしまった。

この作業を実行するとデータが壊れる可能性がありますので、デスクトップにマウント(認識)された状態で電源を切らないように注意してください。同様に、ハードディスクがデスクトップにマウント(認識)されている時は、ACアダプタを抜かないように注意してください。


  本製品の電源を入れ直してください。それでもマウント(認識)されない場合は、コンピュータ本体を再起動してください。

? 警告ダイアログが現れる。

本製品がデスクトップにマウント(認識)されている時に、本製品と Macintosh の接続が外れたり、電源が「OFF」になったりすると、警告ダイアログが現れます。

 元の状態に戻せば(接続を外した場合はケーブルを接続し直し、電源を「OFF」にした場合は「ON」にすれば)、ダイアログは消えます。

接続を外したり、電源を「OFF」にする場合は、本製品に記録したファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないことを確認し、本製品のアイコンをアンマウントして(ゴミ箱に捨てて)から電源を切ってください。

 OK ボタンをクリックすれば、ダイアログは消えます。

接続を外したり、電源を「OFF」にする場合は、本製品のファイルやアプリケーションなどのデータが使用中でないことを確認し、本製品のアイコンをアンマウントして(ゴミ箱に捨てて)から行ってください。

? Windows でフォーマットされた本製品を接続すると、Mac OS のディスクの初期化 画面が表示された。

File Exchange が無効になっていませんか。



File Exchange が無効になっていると、Windows フォーマット形式のディスクを認識できません。このため、ディスクの初期化 画面が表示されます。

Mac OS X 10.1.5でWindowsフォーマット形式のハードディスクを使用していませんか。



Mac OS X 10.1.5 の場合、Windows (DOS) フォーマットでは使用することができません。Mac OS X 10.2 以降であれば、Windows (DOS) フォーマットで使用することができます。

Windows の NTFS フォーマットで初期化していませんか。



Macintosh は NTFS フォーマットに対応していません。NTFS でフォーマットされた本製品は、Macintosh ではデスクトップにマウントされず、未フォーマットドライブとして認識されるため、ディスクの初期化 画面が表示されます。



Mac OS および Mac OS X での Windows (DOS) フォーマットディスクの動作を当社が保証するものではありません。

? Windows の FAT32 フォーマットで複数パーティションに区切られた本製品を接続すると、1 つのボリュームしか認識できない。

Windows の FAT32 で複数のパーティションに区切られていると、Mac OS 9.1 以降では、第 1 パーティションのみがデスクトップにマウントされます。





複数の FAT32 ボリュームに区切られた本製品を Mac OS 9.1 以降でお使いになる場合、File Exchange が有効であれば、第 1 パーティションのみデスクトップにマウントされます。ただし、第 2 パーティション以降はマウントされませんのでご注意ください。なお、Mac OS での Windows (DOS) フォーマットディスクの動作を当社が保証するものではありません。

? 他のディスクに入っているデータを本製品にコピーするとファイル容量が異常に大きくなる。

Macintoshのファイルフォーマット形式には標準フォーマットと拡張フォーマットがあり、ファイルフォーマット形式の異なるディスク間でデータのコピーを行うと、ファイル容量が異常に大きくなる場合があります。

データのやりとりをするディスクのフォーマット形式は統一してお使いください。通常、Macintoshに内蔵のハードディスクは拡張フォーマットで初期化されているため、本製品をフォーマットする必要がある場合は、拡張フォーマットで初期化してください。なお、本製品は出荷時では拡張フォーマットを行っています。


 拡張フォーマットで初期化する場合は、Fire Formatterの「拡張フォーマットを行う」にチェックを入れた状態で行ってください（P34を参照）。

 拡張フォーマットで初期化する場合は、「ディスクユーティリティ」のフォーマットのタイプを「Mac OS 拡張（ジャーナリング）」もしくは「Mac OS 拡張」にしてください（P40を参照）。

? アイコンの変更ができない。


変更したいアイコンがファイルやフォルダではありませんか。ファイルやフォルダの場合は、以下の警告ダイアログが表示されます。

「選択されたものはボリュームではありませんでした。アイコンは変更されませんでした。」

 「FireWire Utility」フォルダの中の「Yano アイコン」というフォルダにアイコンが収録されています。このアイコン変更はボリュームアイコンにのみ変更が可能です。詳しくは、P36「ボリュームアイコンの変更について」をご覧ください。

? Mac OS 9.1以降でUSB接続の場合に、初期化をしようとすると、『フォーマット：』にMac OSのフォーマット形式が表示されない。

Mac OS 9.1以降でUSB接続している場合に、Windowsで初期化されたディスクをMacintoshフォーマットで初期化し直そうとすると、『フォーマット：』にMac OSのフォーマット形式が表示されません。以下の手順で作業を行ってください。

 【アップルメニュー】から【コントロールパネル】の【機能拡張マネージャ】で「File Exchange」を無効にしてから、Macintoshを再起動したのち初期化を行います。詳しくは、P38「Windowsフォーマットで初期化されたディスクをMacintoshフォーマットで初期化し直す場合」をお読みください。

カスタマサポートのご案内

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

カスタマサポート専用回線

Tel. (078) 993-0010 Fax. (078) 997-6408

月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）

午前 10:00 ~ 12:00 午後 1:00 ~ 5:00

カスタマサポートの専用回線が混み合っている場合は、しばらくたってからおかけ直しいただくか、下記の電話番号あてにご連絡ください。

ヤノ電器株式会社

〒651-2242 神戸市西区井吹台東町 1-1 Tel. (078) 993-0007

オンライン情報提供サービスのご案内

弊社では、インターネットを利用して、よりタイムリーな製品情報を提供しています。

- ・製品情報
- ・製品に関するQ&A
- ・ドライバソフトなどのソフトウェアのダウンロードサービス

Web : www.yano-el.co.jp

E-mail : info@yano-el.co.jp

FireWire 800 HD Drive METALWEAR series ユーザーズマニュアル

2003年5月14日 第1版発行

2004年5月20日 第4版発行

発行所

ヤノ電器株式会社
神戸市西区井吹台東町 1-1 (〒651-2242)

落丁乱丁本はお取り替えします。

本マニュアルに記載された製品の仕様、本マニュアルの記載内容等は予告なく変更することがあります。

Apple, Mac, Macintosh, Power Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

Power Mac, iMac は米国アップルコンピュータ社の商標です。

Microsoft, Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載された会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。



ヤノ電器株式会社
www.yano-el.co.jp